



広報

なほ

市民の友

第655号 毎月1回発行
2005年(平成17年)

8月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 光文堂印刷株式会社

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2005(平成17)年6月末現在	
総人口	314,392(1,845)
男	152,033(933)
女	162,359(912)
世帯数	126,777(1,047)
住民基本台帳人口の内部(外国人を除く)	
本 庁	91,683
真和志	105,723
首 里	58,714
小 禄	56,427



シネマの灯りが帰ってきた

桜坂劇場オープン

今年の4月に、惜しまれつつ閉館した「桜坂シネコン琉映」が7月1日(金)、レコード店や軽食もとれるカフェ、映画や美術関係の書籍を販売する店舗などを併設した「桜坂劇場」として、生まれ変わりました。映画全盛期の1950年代から60年代には、多くの人たちが訪れた「映画の街」桜坂も、近郊に大型の複合型映画館が進出してからは客足も遠のき、通りも寂しくなっていました。そのような状況下での桜坂シネコン琉映の閉館には、「桜坂の灯が消えてしまつ」と多くの人たちが惜しむ声が聞こえていました。

県内の映画監督をはじめ有志のみならずの「街中の映画館を消してはいけない」という強い想いで開館した同劇場のオープニングイベントには、開場前から多くの映画ファンが訪れ、期待の高さを伺わせました。久しぶりの通りのにぎわいに、近所のお年寄りは「昔はいつもこうだったからね。これを機会に、また多くの人たちが来てくれたら」と笑顔を見せていました。

同劇場に、映画ファンだけでなく多くの人たちが足を運ぶことで、映画の街「桜坂の復活と那覇の街の活性化につながるものと期待されています」。

夏休み 環境をテーマに探検してみよう！
7月8日を「なほの日」
那覇市の「塩漬け土地」問題について
情報PACK 6 4 5 7

協働のまちづくり 那覇を紡ぐ



「協働」とは、市民、市民団体、事業者、市が機能の違いや相互の特性を理解し、互いに補完し合い、よきパートナーとして、協力し合う活動体系をいいます。個人あるいは一つの組織だけではできないような地域の様々な悩みや課題を解決するためにいきます。

市では、市民のみならずや企業の方々と協働のまちづくりをめざし、道路ボランティア協定を進めています。

古波蔵支店開設時より、毎朝の清掃を行っている玉城直也支店長と松川博和次長は「清掃は、地域のみなさんに気持ち良く道路を利用してもらいたいという思いで続けています。清掃と同時に通学する子どもたちへの声かけも行っていますが、元気がいいさつを返してくれるので楽しいですよ。こういった運動が、地域や事業所のみなさんの間にも広がり、道路のよみにつながるとういことです」と期待を込めて話してくれました。

市の管理する市道は、路線の数が約1,900本、総延長は約390キロメートルあります。国がすすめる三位一体の改革などによる厳しい財政状況の中で、その全ての美化、維持管理等について、隅々まで気を配り、目を行き届かせることは、非常に難しい状況にあり、多くの市民のみなさま、企業のみなさまのご協力を必要としているのが現状です。

現在、市と道路ボランティア協定を結んでいるのは、2団体あります。先ごろ、新たに沖縄銀行が主体となり、南部国道事務所、南部土木事務所と市による4者協定を締結しました(写真右)。

なかでも、沖縄銀行は以前から社会貢献活動の一環として、就業開始前に本店、支店及び出張所周

手を携えて道づくり

の低いものにしていくために、努力していきます。



本紙は「カラーバリアフリー(色覚障壁の除去)」につとめています。

お気づきの点がありましたらお寄せください。

☎862-9942 秘書広報課

再生紙を使用しています。